

解禁指定：平成20年4月1日（火）16時

記者発表資料

平成20年4月1日

遠賀川河川事務所

平成20年度 遠賀川河川事務所 の主要事業について

遠賀川河川事務所は、平成20年度より総合水系環境整備事業として遠賀川河口堰（芦屋町）の自然再生事業に着手するとともに、平成15年7月19日の豪雨で被災を受けた飯塚・穂波地区等の直轄床上浸水対策特別緊急事業に引続き重点投資します。

○直方記者クラブ ○飯塚地区 ○田川記者クラブ ○北九州記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所
TEL:0949-22-1830(代表)

技術副所長 深町 弘幸(内線204)
技術副所長 山口 英彦(内線205)

遠賀川河川事務所の概要

遠賀川河川事務所は、安全で安心した暮らしを守るために、近年頻発している出水被害（平成11年、13年、15年）を軽減する事業を強力に推進するとともに、遠賀川河口堰や堤防・樋管等の河川管理施設の維持管理・修繕及び遠賀川の河川環境や利活用促進を図るための整備等を実施します。

なお、整備に当たっては、地域住民の方々の意見等を聞きながら、地域と一体となった河川事業を実施します。

平成20年度事業概要

（単位：百万円）

予算区分	平成19年度 当初	平成19年度 補正予算	平成20年度 当初	対前年 当初比	概要
河川改修費	292	629	267	0.91	直方地区の河川改修事業等の実施
床上浸水対策特別緊急事業(飯塚・穂波地区)	3,706	120	1,730	0.47	遠賀川及び穂波川の河道掘削及び橋梁架け替え(芳雄橋、飯塚橋)による浸水被害軽減対策の実施
床上浸水対策特別緊急事業(学頭・菰田地区)	810		165	0.20	H15.7出水対策として、排水機場の増設整備を実施
床上浸水対策特別緊急事業(直方地区)	22		45	2.05	直方中心市街地の慢性的な浸水被害軽減対策(排水機場の新設)の実施
河川維持修繕費	2,010		1,903	0.95	河川管理施設の維持管理・修繕等の実施
河川工作物関連応急対策事業費	385	48	327	0.85	老朽樋管の応急的対策の実施
総合水系環境整備事業費	427		256	0.60	遠賀川水系の河川環境・利活用促進のための整備の実施
堰堤維持費	632		679	1.07	遠賀川河口堰の維持管理・修繕等の実施
直轄河川等災害復旧費	347		0	—	
計	8,631	797	5,372	0.62	

注) 本表は、端数処理の結果合計が一致しない場合があります。

平成19年度補正予算につきましては、平成20年2月6日に成立いたしました。

遠賀川河川事務所における平成20年度の主要事業について

平成20年度完成予定事業

- ① 平成15年7月出水による浸水被害軽減対策として、平成16年度に着手した、直轄床上浸水対策特別緊急事業(飯塚・穂波地区)の完成を図ります。

平成20年度新規事業

- ② 総合水系環境整備事業(遠賀川河口堰)に着手します。

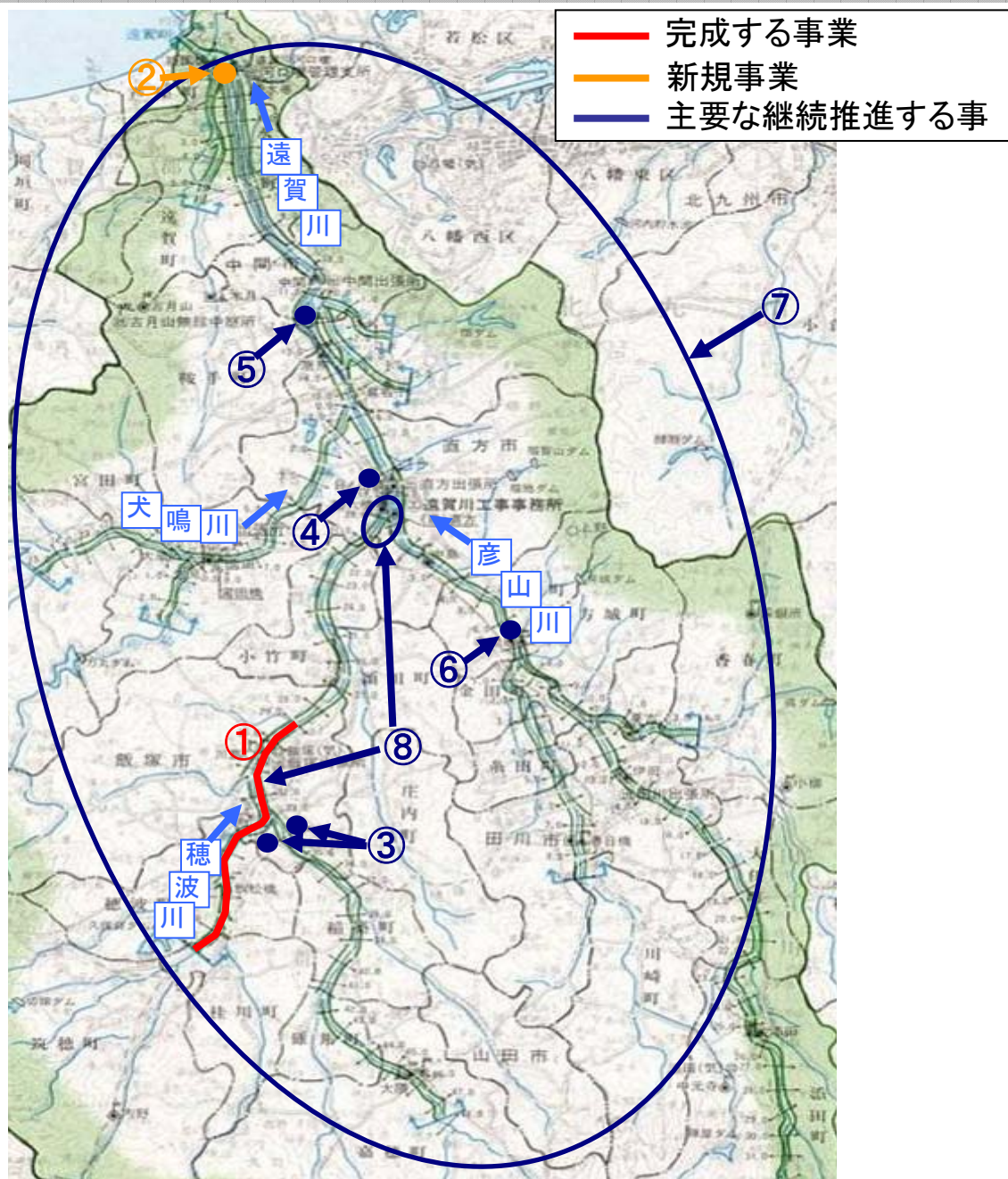
主要継続事業

- ③ 平成15年7月出水による浸水被害軽減対策として、平成17年度に着手した、直轄床上浸水対策特別緊急事業(学頭・菰田地区)の事業促進を図ります。
- ④ 慢性的な浸水被害に悩まされている直方中心市街地の浸水被害軽減対策として、平成17年度に着手した、直轄床上浸水対策特別緊急事業(直方地区)の事業促進を図ります。
- ⑤ 平成16年度に着手した、総合水系環境整備事業(中島自然再生事業)の事業促進を図ります。
- ⑥ 平成19年度に着手した、総合水系環境整備事業(赤池地区河川利用推進事業)の事業促進を図ります。
- ⑦ 堤防等の河川管理施設の維持・修繕及び老朽化した樋管等の適切な管理を図るため、直轄河川維持修繕・直轄河川工作物関連応急対策事業の継続整備を図ります。

国土交通省としての取り組み

- ⑧ 平成17年度から、安全・安心した河川整備と併せて、地域の方々と一緒に河川の利活用について考え・協働整備を行う「地域社会の再構築」を実施しており、河川を軸とした地域づくり支援を直方市・飯塚市をモデル地区として実施します。

遠賀川河川事務所における平成20年度主要事業について(位置図)



- ①直轄床上浸水対策特別緊急事業【飯塚・穂波地区】
- ②直轄総合水系環境整備事業【遠賀川河口堰】
- ③直轄床上浸水対策特別緊急事業【学頭・菰田地区】
- ④直轄床上浸水対策特別緊急事業【直方地区】
- ⑤総合水系環境整備事業【中島自然再生事業】
- ⑥総合水系環境整備事業【赤池地区河川利用推進事業】
- ⑦直轄河川維持修繕費・直轄河川工作物関連応急対策事業費
- ⑧地域社会の再構築【直方地区、飯塚地区】

【主要事業紙芝居①】

直轄床上浸水対策特別緊急事業（^{いづか}飯塚・^{ほなみ}穂波地区）の完成を目指します

～遠賀川・穂波川の河道掘削と橋梁架替により、大幅な浸水被害の軽減を図ります～

1. 事業目的及び事業効果

平成15年7月19日の集中豪雨により、飯塚市、穂波町の中心市街部で約2,000戸を超える甚大な家屋浸水被害が発生しました。この被害を受けて平成16年度より、遠賀川の鯉田取水堰から穂波川の約10kmについての河道掘削と橋梁の架替（芳雄橋・飯塚橋）による床上浸水対策特別緊急事業に着手しています。

平成20年度は、河道掘削及び橋梁架け替え等の事業完成をめざし、遠賀川・穂波川の水位低減による内水排除の効率化を図り、当地区の家屋浸水被害の大幅な軽減を図ります。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県飯塚市
- 事業期間：平成16年度～平成20年度（予定）
- 事業費：約140億円（H20年度事業費：約17.3億円）
- 事業内容：河道掘削（鯉田取水堰から穂波川直轄上流端までの区間（約10km））、橋梁架替え（2橋：芳雄橋、飯塚橋）

3. 位置図等



総合水系環境整備事業(遠賀川河口堰)に新たに着手します

～魚道の改築・新設を行い、遠賀川水系全体の魚類の多様性の回復を図ります～

1. 事業目的及び事業効果

遠賀川河口堰の魚道は、遠賀川水系最下流に位置することから、その魚道は水系全体に亘る魚類の遡上や降下の出入り口であり、遠賀川の魚介類の生息・生育環境の起点となる重要な魚道であります。このため、平成20年度より自然再生事業に着手し、魚道機能を向上することにより、遠賀川水系全体の魚介類の多様性（サケの遡上等）の回復を図るとともに、環境教育の場としての利用を促進します。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県遠賀郡芦屋町（遠賀川河口堰）
- 事業期間：平成20年度～平成24年度（予定）
- 事業費：約6.9億円（H20年度事業費：約0.3億円）
- 事業内容：魚道改良・新設

3. 位置図等



【主要事業紙芝居③】

直轄床上浸水対策特別緊急事業（学頭・菰田地区）の継続促進

～H15.7出水対策として、排水機場の増強、調節地の整備により浸水被害の軽減を図ります～

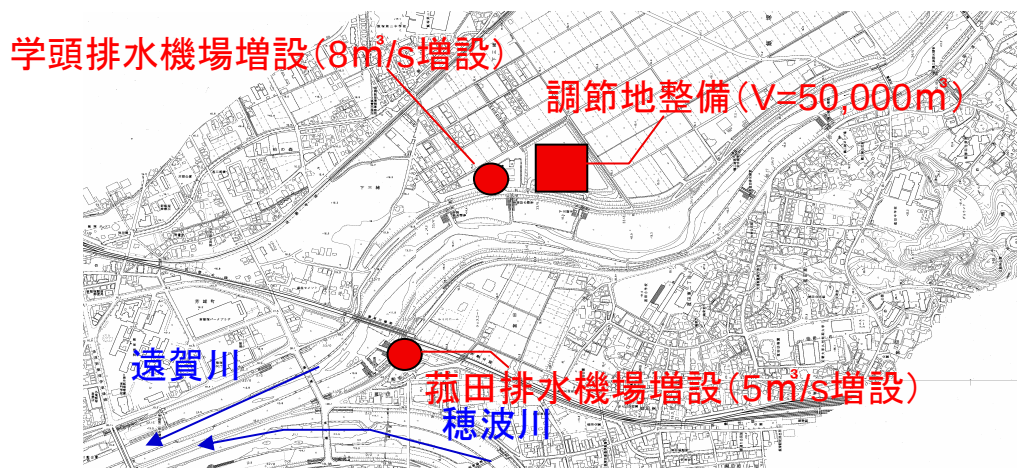
1. 事業目的及び事業効果

遠賀川の飯塚・穂波地区では、平成15年7月19日の集中豪雨により、飯塚市、旧穂波町の中心市街部で約2,000戸を超える家屋浸水被害が発生しました。これを受けて、平成16年度より、7.19出水対応の第1弾として、遠賀川及び穂波川の河道掘削、橋梁架替による床上浸水対策事業を実施していますが、この事業効果と合わせて、平成20年度も引き続き、菰田地区における排水機場の増設等を行い、当地区での床上浸水家屋被害の大幅な軽減を図ります。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県飯塚市（学頭・菰田地区）
- 事業期間：平成17年度～平成21年度（予定）
- 事業費：約34億円（H20年度事業費：約1.7億円）
- 事業内容：菰田排水機場 5 m³/s増設（既設15m³/s）、
学頭排水機場 8 m³/s増設（既設10m³/s）、調節地整備 50,000m³

3. 位置図等



【主要事業紙芝居④】

直轄床上浸水対策特別緊急事業（直方地区）^{のおがた}の継続促進を図ります

～排水機場の整備により、直方中心市街部の慢性的な浸水被害の軽減を図ります～

1. 事業目的及び事業効果

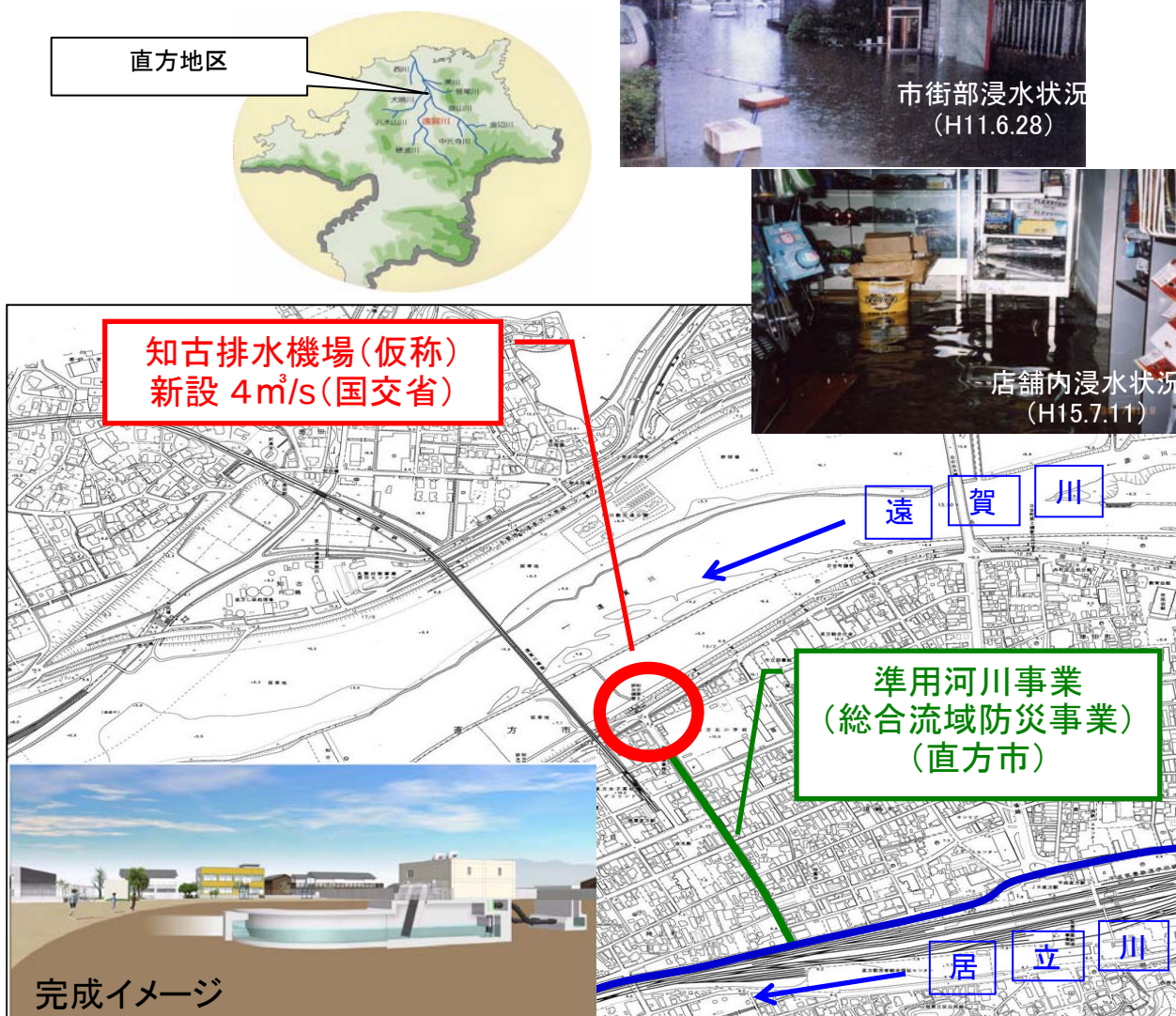
H15. 7による浸水被災等、直方中心市街部は慢性的な床上浸水被害が発生しており、特に直方駅前に集中する商店街等においては、幾度と無く浸水に見舞われ、店舗の営業に支障をきたすなどその被害は甚大なものでありました。

これを受けて、平成20年度についても引き続き直方市と協働し、居立川の準用河川事業等とあわせて内水対策として排水機場を整備することにより、直方中心市街部及び商店街の慢性的な床上浸水被害の軽減を図ります。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県 直方市（知古地先）
- 事業期間：平成17年度～平成21年度（予定）
- 事業費：約10億円（H20年度事業費：約0.5億円）
- 事業内容：排水機場 4 m³/s（新設）

3. 位置図等



【主要事業紙芝居⑤】

総合水系環境整備事業(中島^{なかしま}自然再生事業)

～流域や河川の多様な景観を復元・創出し、自然と人々のふれあいを育む遠賀未来の川づくり～

1. 事業目的及び事業効果

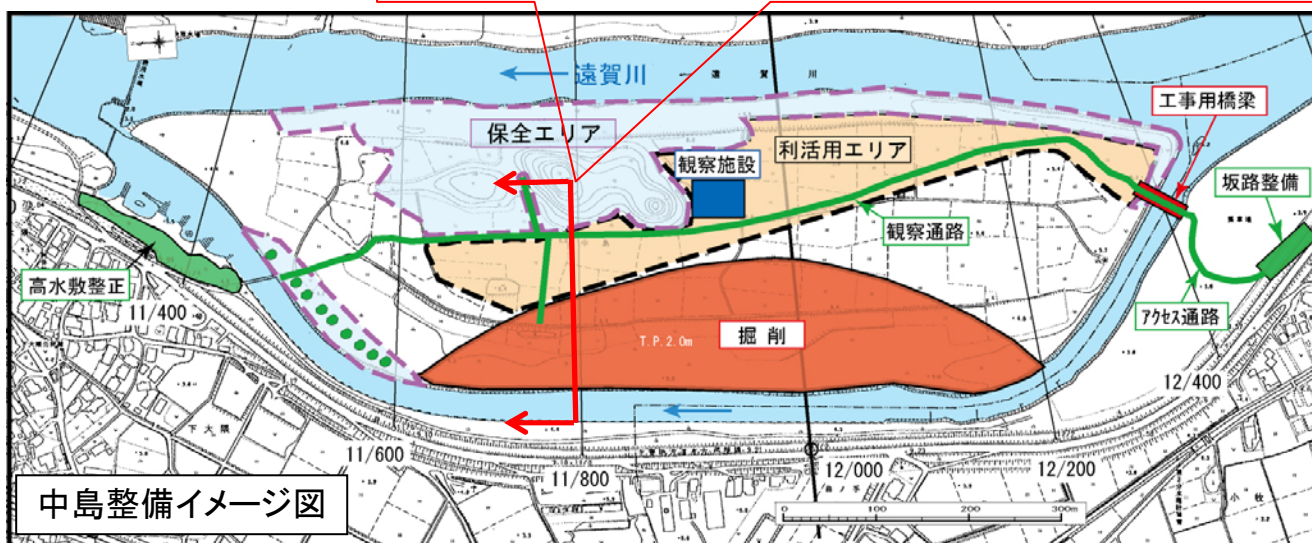
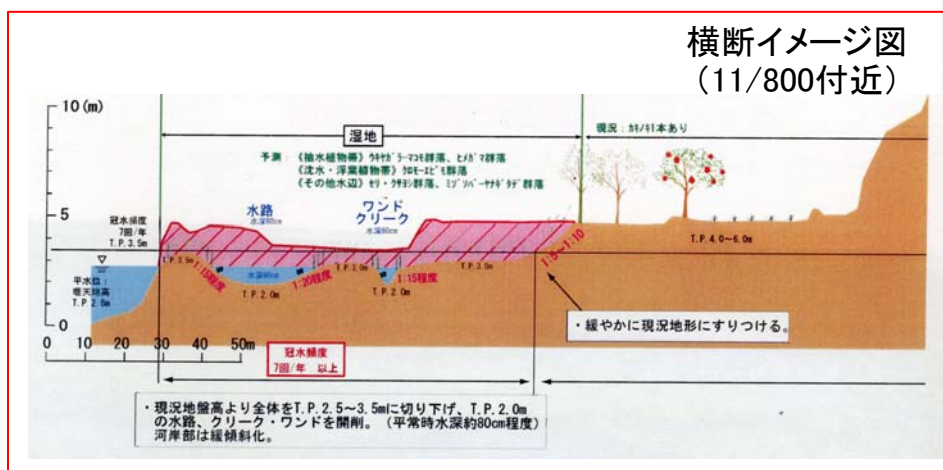
遠賀川中下流部では、流域の土地利用の変化や河川工事などのために、流域内の氾濫原的湿地（洪水時に氾濫していた場所）や河道内湿地（川の中のたまりや池など）が著しく減少しました。また、コンクリート護岸の設置により水際環境の単調化が進み、様々な生き物が住む空間が減少し、生物多様性が低下したと推測されます。

そこで、中間市付近にある中島において、流域及び河川で失われた氾濫原やヨシ原を、その景観として復元・創出することで、多様な生き物のゆりかごとして次世代に引き継ぐ未来の遠賀川の川づくりを行います。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県中間市（中島地区）
- 事業期間：平成16年度～平成29年度（予定）
- 事業費：約8.8億円（H20年度事業費：約1.2億円）
- 事業内容：高水敷掘り下げによる湿地の創出

3. 位置図等



【主要事業紙芝居⑥】

総合水系環境整備事業(赤池地区河川利用推進事業)^{あかいけ}

～散策路や親水施設などを整備し、世代を超えて人々がふれあえる河川空間を作ります～

1. 事業目的及び事業効果

当地区は、遠賀川と彦山川の合流地点から6km上流の彦山川（福岡県田川郡福智町）にあります。小中学校が隣接しており、学校による水質調査や清掃活動が行われるとともに、住民団体による毎月1回の河川清掃が実施されていますが、水際の護岸が急勾配で、安全に水辺に近づくことが出来ないため、河川での活動が制限されています。

そこで、水辺まで安全に降りることが出来る親水施設やウォーキングにも利用できる散策路を整備し、普段の利用や河川清掃活動を通じて、小中学生と地域の方がともにふれあえる河川空間を作ります。

2. 事業概要

- 事業箇所：福岡県田川郡福智町（赤池地区）
- 事業期間：平成19年度～平成21年度（予定）
- 事業費：約2億円（H20年度事業費：約1.0億円）
- 事業内容：親水施設の整備等

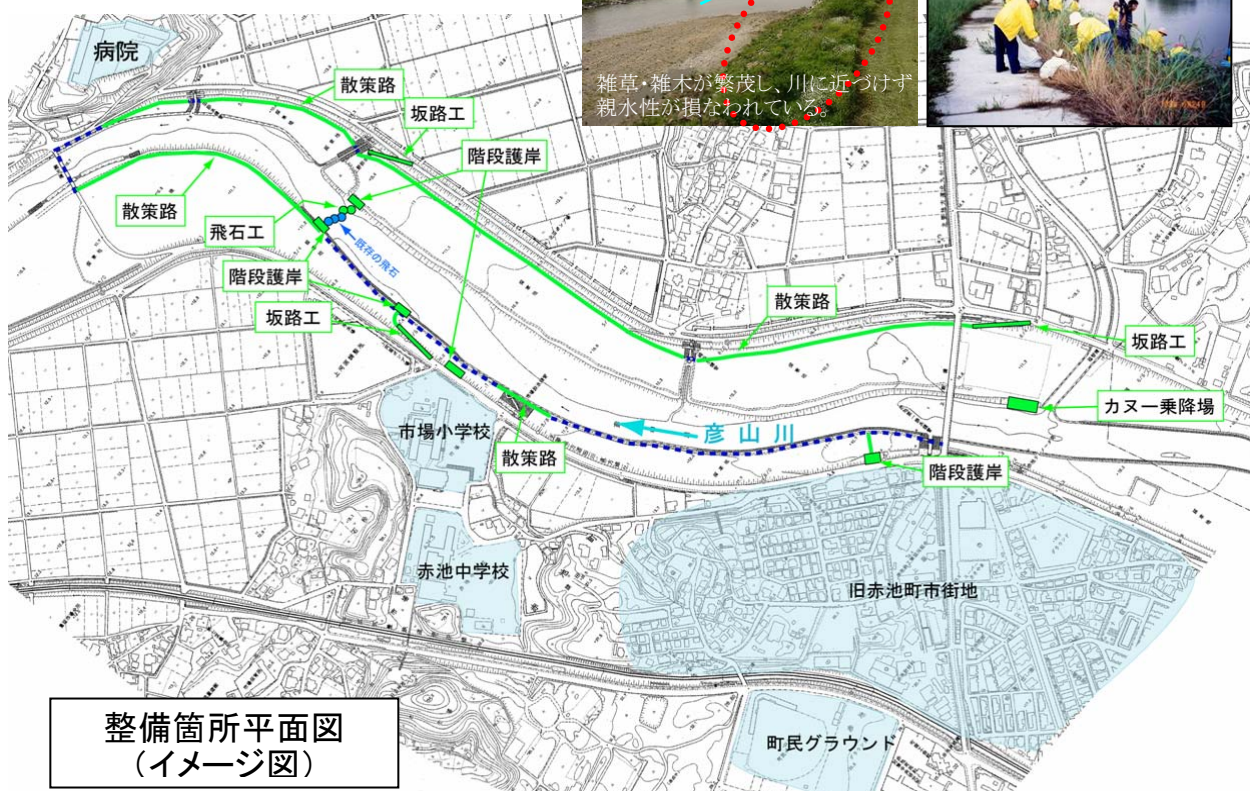
3. 位置図等



地元では、地区の河川整備について考える『子どもの水辺協議会』を定期的に行っています。

◆協議会メンバー

- ・福智町
- ・福智町教育委員会 学校教育課
- ・周辺の学校（市場小学校、赤池中学校）
- ・住民団体（彦山川夢の会、子供会育成連合会等）



【主要事業紙芝居⑦】

直轄河川維持修繕・直轄河川工作物関連応急対策事業

～河川管理施設の維持修繕及び老朽化した樋管等の適切な管理【安全・安心の確保】～

【直轄河川維持修繕】

河川管理施設の維持修繕（堤防及び高水敷除草、堤防法面補修、護岸補修、塵芥処理など）、河川巡視、堤防点検及び水閘門操作委託などを実施します。

【直轄河川工作物関連応急対策事業】

空洞化を起こしている樋管や函体の損傷が激しい樋管について、管更正（延命化）や空洞対策といった応急対策工事を実施します。

直轄河川維持修繕費による対応状況
【護岸・樋管開水路補修】

補修前



補修後

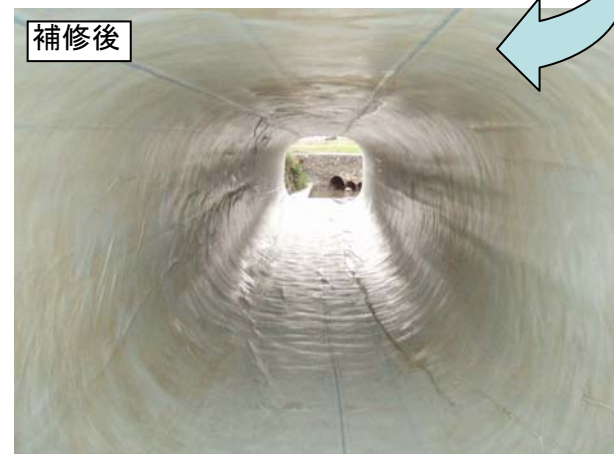


直轄河川工作物関連緊急対策事業費
による対応状況
【樋管函体補修】

補修前



補修後



【主要事業紙芝居⑧】

遠賀川を軸とした地域づくり『地域社会の再構築』を地域と協働して進めます

～遠賀川の利活用促進と合わせて、さらに元気な地域づくりを支援します～

1. 事業目的及び事業効果

元気な地域づくり（地域社会の再構築）を支援する河川整備、河川空間の利活用等について、地域と協働して、具体的目標・プログラムの設定、評価・公表を行いながら、直方・飯塚地区をモデル地区として、遠賀川を軸とした地域づくりを平成17年度から本格的に進めており、平成20年度も継続して進めます。

2. 事業概要

- 事業箇所：直方地区、飯塚地区
- 事業期間：平成17年度から

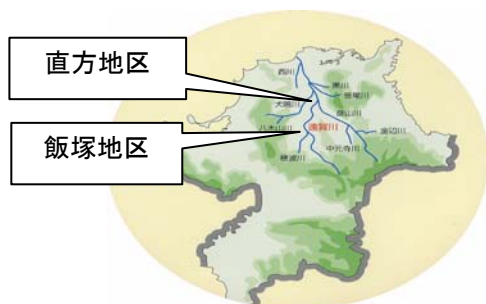
【直方地区の地域社会の再構築】

河川を活用したにぎわい空間（親水性・体験学習の場等の整備）をつくり、まちとの連携を図り、地域と行政が一体となって河川整備について考え、遠賀川を軸として直方中心市街地の活力を図ります。

【飯塚地区の地域社会の再構築】

7. 19水害対策と併せて、地域と行政が河川の利活用について共に考え、「水害対策からの新たな地域づくり」を図り、併せて、自主防災組織づくりの支援等を行うことにより、「水害からの復興と飯塚新旧市街地の活性化及び災害に強いまちづくり」を図ります。

3. 位置図等



市民等との意見交換により完成した整備箇所の合同視察(直方)



芳雄橋の完成イメージ模型により市民等と意見交換(飯塚)